

平成30年度 京都市域地域医療構想調整会議

第2回Aブロック意見交換会

日 時：平成30年12月17日（月）14:00～16:00

場 所：京都府医師会館 310 会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

(1) 地域における医療機関の機能について（病院機能MAP）

(2) 各病院から「病院の役割と今後について」発表

(3) 地域における各病院の役割について意見交換（各病院間、各団体間）

4 閉会

【第2回】京都市ブロック部会出席者一覧(団体)

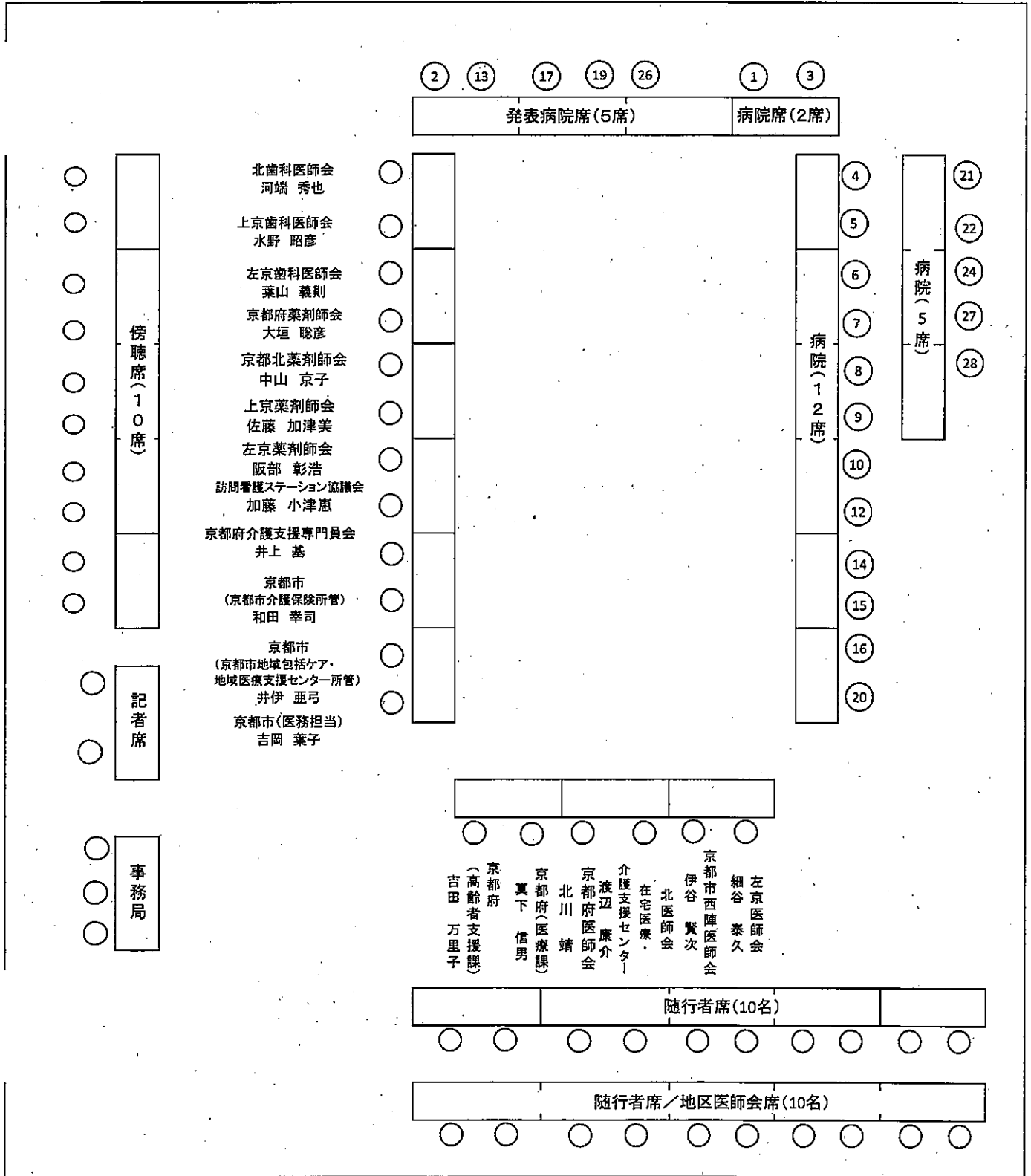
団体名	役職名	就任者名
京都府医師会	副 会 長	北 川 靖 ( 座 長 )
京都北医師会	理 事	渡 辺 康 介
上京東部医師会	欠	席
京都市西陣医師会	副 会 長	伊 谷 賢 次
左京医師会	理 事	細 谷 泰 久
北歯科医師会	会 長	河 端 秀 也
上京歯科医師会	地 域 保 健 理 事	水 野 昭 彦
左京歯科医師会	—	葉 山 義 則
京都府薬剤師会	理 事	大 垣 聡 彦
京都北薬剤師会	会 長 代 理	中 山 京 子
上京薬剤師会	会 長 代 理	佐 藤 加 津 美
左京薬剤師会	会 長	阪 部 彰 浩
京都府訪問看護ステーション協議会	副 会 長	加 藤 小 津 恵
京都府介護支援専門員会	会 長	井 上 基
在宅医療・介護支援センター(北区・上京区)	京 都 北 医 師 会 理 事	渡 辺 康 介
地域包括支援センター (介護保険、地域包括ケア・地域包括支援センター所管)	長 寿 企 画 課 担 当 課 長	井 伊 亜 弓
	介 護 ケ ア 推 進 課 担 当 課 長	和 田 幸 司
京都市(医務担当)	医 務 衛 生 課 係 長	吉 岡 葉 子
京都府	高 齢 者 支 援 課 担 当 課 長	吉 田 万 里 子
	医 療 課 担 当 課 長	真 下 信 男

A  
ブ  
ロ  
ッ  
ク

京都市ブロック部会出席者一覧

No.	施設名	役職名	出席者名
北	1 独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	院 長	島崎 千尋
	2 社会福祉法人 京都博愛会病院	事 務 長	古田 智史
	3 医療法人浜田会洛北病院	事 務 次 長	西村 幸男
	4 社会福祉法人聖ヨゼフ会 聖ヨゼフ医療福祉センター	院 長	太田 茂
	5 京都警察病院	院 長	菅田 芳孝
	6 富田病院	事 務 長 代 行	伴 卓浩
	7 財団法人薬師山病院	—	河野 能士
	8 北山武田病院	事 務 長	長谷川 賢一
	9 医療法人愛智会京都北野病院	理 事 長	土居 徹
	10 医療法人明生会賀茂病院	事 務 長	荒木 朝実
A 上 京 ブ ロ ッ ク	11 京都府立医科大学附属病院	—	
	12 京都第二赤十字病院	病 院 長	小林 裕
	13 西陣病院	事 務 部 長	白木 健一
	14 社会医療法人西陣健康会堀川病院	事 務 長	山田 正明
	15 相馬病院	事 務 長	坂本 裕里
	16 医療法人愛寿会 同仁病院	事 務 部 長	濱崎 征彰
	17 室町病院	事 務 長	山本 幸裕
左 京	18 京都大学医学部附属病院	—	
	19 医療法人社団行陵会 京都大原記念病院	事 務 長 補 佐	土屋 賀生
	20 公益社団法人信和会 京都民医連第二中央病院	院 長	磯村 理
	21 総合病院日本バプテスト病院	事 務 長	小石原 稔
	22 医療法人 寿尚会 洛陽病院	地 域 医 療 連 携 室	高杉 華香
	24 医療法人稲門会いわくら病院	事 務 長	市場 真澄
	25 医療法人一仁会脳神経リハビリ北大路病院	欠 席	
	26 医療法人社団貴順会 吉川病院	理 事 長	吉川 拓宏
	27 医療法人社団順和会 京都下鴨病院	事 務 長	北村 健夫
	28 医療法人社団行陵会 京都近衛リハビリテーション病院	事 務 長	渡邊 雄一

# 地域医療構想調整会議 Aブロック意見交換会



## 【Aブロック】第2回ブロック会議発表資料

行政区	病院名	ページ番号
北区	社会福祉法人京都博愛会 京都博愛会病院	1 ~ 2
上京区	西陣病院	3 ~ 4
	室町病院	5 ~ 6
左京区	医療法人社団行陵会 京都大原記念病院	7 ~ 8
	医療法人社団貴順会 吉川病院	9 ~ 10

# 病院の役割と今後について

## 【基本情報】

病院名	京都博愛会病院				
所在地	京都市北区上賀茂ケシ山1番地				
許可病床数	204床（一般病床、療養病床の合計）				
病床の種別 （非稼働病床）	一般 204床 (○床)	医療療養 ○床 (○床)	介護療養 ○床 (○床)		
主な診療科目 （上位3つ）	内科		外科	精神科	
病床機能	高度急性期 ○床	急性期 41床	回復期 50床	慢性期 113床	
主な病院機能					

### 例示

- ①周産期医療○○病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

## 【現状と今後について】

自施設の現状	救急医療を担う急性期病院から、地域医療へと繋ぐ後方支援病院
自施設の課題	急性期病院からの受け入れ患者の在宅への移行
地域において今後担う役割	サブ、ポストアキュート患者の受け入れ 精神症状を伴う身体合併患者の受け入れ
今後の展望	回復期病棟での患者の受け入れを積極的に行い、在宅への移行の推進並びに慢性重症患者の受け入れを積極的に行い、また精神症状を伴う身体合併患者の受け入れによる急性期病院からの後方支援病院として多種多様の機能の充実。

## 病院の役割と今後について

### 【基本情報】

病院名	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院			
所在地	京都市上京区今出川通七本松上ル溝前町 1035 番地			
許可病床数	320 床 (一般病床、療養病床の合計)			
病床の種別 (非稼働病床)	一般 320 床 (25 床)	医療療養 0 床 (0 床)	介護療養 0 床 (0 床)	
主な診療科目 (上位3つ)	内科	腎臓・泌尿器科	整形外科	
病床機能	高度急性期 0 床	急性期 171 床	回復期 51 床	慢性期 68 床
主な病院機能	③救急告示病院			

#### 例示

- ①周産期医療〇〇病院 (センター)
- ②救命救急センター (三次)
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院 (在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院)
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中 (急性期)・(回復期)・(維持期) を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞 (急性期)・(回復期) を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院



## 【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<p>○京都市北西部にて急性期機能および透析患者治療（CKD、慢性維持透析及び合併症治療）を提供。</p> <p>○地域医療への貢献を当院の責務と捉え、開業医の先生方との連携を重点的に、紹介患者の受け入れ（紹介率は5割越える）、夜間外来診療および土曜外来診療の継続を行っている。</p> <p>○地域包括ケア病棟及び入退院支援室をおき、MSWと看護師を中心に他職種で丁寧な退院支援を行っている。</p> <p>○社会福祉法人立の病院として生活困窮者への医療を提供。</p>
<p>自施設の課題</p>	<p>○地域にあるべき病院として長く存続するために、インフラ（建物や設備）の老朽化が課題。</p> <p>○地域医療を担うための一定のマンパワーの確保。</p>
<p>地域において今後担う役割</p>	<p>○当院が属している法人が、医療以外に児童福祉施設や保育園、高齢者福祉施設、身体障害者福祉施設を併せ持つ団体である。当院の役割として、地域医療への貢献だけでなく、併せて地域の社会的弱者、生活困窮者への直接的な援助を行うことが役割である。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>○地域のニーズに併せて、平成28年3月に急性期病棟の1病棟51床を地域包括ケア病棟に転換している。現在の病棟編成は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7対1急性期病棟4病棟（171床）</li> <li>・ 地域包括ケア病棟1病棟（51床）</li> <li>・ 10対1障害者等入院基本料病棟2病棟（68床）</li> </ul> <p>これらの病棟は地域のニーズに合致しており、現状いずれも高い稼働率を維持している状態だが、今後も地域のニーズが変化すれば病床機能を転換し、地域貢献のために対応していく所存です。</p>

## 病院の役割と今後について

### 【基本情報】

病院名	医療法人幸生会 室町病院			
所在地	京都府京都市上京区室町通上立売下る裏築地町8.8			
許可病床数	50床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 （非稼働病床）	一般 50床 (0床)	医療療養 0床 (0床)	介護療養 0床 (0床)	
主な診療科目 （上位3つ）	内科、整形外科、外科			
病床機能	高度急性期 0床	急性期 50床	回復期 0床	慢性期 0床
主な病院機能	<p>【入院機能】地域一般病床として、急性期経過後に引き続き入院医療を必要とする患者、重装備な急性期入院医療まで必要としないが在宅等において症状の急性増悪した状態の患者から慢性期の患者まで、多様な病状の患者受け入れを担っている。</p> <p>【外来機能】外来から入院、介護保険対応までワンストップで提供できる地域医療機関として機能している。また特定の治療において高度急性期病院での外来を引き続き医療提供できる体制を敷いている。</p>			

- ①周産期医療〇〇病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

## 【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<p>内科的治療においては亜急性期に対応する医療提供体制を整えている。 在宅療養あんしん病院に登録し、在宅療養中の高齢患者の受診、入院体制を整えている。 慢性期患者にあつて在宅療養に不安がある患者が比較的長期に入院できる医療提供体制を整えている（地域一般入院基本料注11規定の採用：90日超入院の体制）。</p>
<p>自施設の課題</p>	<p>地域包括医療体制の中で、地域診療所、病院、施設、在宅とのより一層の連携強化 自院外来の方向性分析（かかりつけ機能の更なる充実、提供医療の幅の充実（多科化）、提供医療の深掘り（専門化）、在宅機能の充実、オンライン診療提供など地域の求めの分析）</p>
<p>地域において今後担う役割</p>	<p>地域急性期病院での治療経過後患者への入院医療提供 在宅等において急性増悪した患者への入院医療提供 在宅及び施設療養あんしん病院としての入院医療提供 地域の求めに応じた外来診療 予防検診の強化 地域産業への予防医療の働きかけ（職域検診、職域予防接種、ストレスチェック等）</p>
<p>今後の展望</p>	<p>外来診療における一次診療機能と入院機能をもった地域一般病院として、三次診療（京都大学附属病院・府立医科大学附属病院・京都第二赤十字病院・鞍馬口医療センター）との連携を通して地域での存在価値を見出していきたい。</p>

## 病院の役割と今後について

### 【基本情報】

病院名	京都大原記念病院			
所在地	京都市左京区大原戸寺町 334-1			
許可病床数	203 床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 （非稼働病床）	一般 31 床 (0 床)	医療療養 172 床 (0 床)	介護療養 0 床 (0 床)	
主な診療科目 （上位3つ）	リハビリテーション科	整形外科	神経内科	
病床機能	高度急性期 0 床	急性期 31 床	回復期 172 床	慢性期 0 床
主な病院機能	○脳卒中、運動器リハビリテーションを核とし、在宅復帰を目指し、急性期医療機関からの受入れを担う病院 ○救急告示病院			

#### 例示

- ①周産期医療〇〇病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

## 【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<p>○急性期病院と密な連携を図り、早期のリハビリ介入ができるよう当院（回復期）へ繋げ、患者様の在宅復帰、復職に取り組んでいる。</p> <p>○先端リハビリ（NEURO15、LSVT®LOUD or BIGなど）を取り入れ実施している。</p> <p>○御所南リハビリテーションクリニック（外来リハ）も展開しており、途切れなく各ステージに応じたリハビリテーション医療を提供。</p>
<p>自施設の課題</p>	<p>○回復期病院は、急性期からの患者をスムーズに受け入れ住み慣れた地域へ返すという大きな役割を担っている。ただ単に在宅復帰を目指すのではなく、入院中から、退院後に患者に関わる関係機関との密な連携が図れるよう強化し、患者・家族が安心して在宅で生活できるよう引続き他職種協働で取り組んでいく。</p>
<p>地域において今後担う役割</p>	<p>○地域包括ケアシステムの構築には、急性期から回復期、生活期と在宅支援・社会参加に至る継続的なリハビリ支援が重要である。当グループは、「医療・介護・福祉」三位一体のサービスを提供し、リハビリ病院を中心に外来リハ、訪問リハ、訪問診療、介護サービス、高齢者施設・高齢者住宅と医療から在宅ケアまで総合的なネットワークを構築している。</p> <p>今後も地域包括ケアシステムの先駆者として地域の医療・介護連携に率先して取り組んでいく。</p> <p>○今後も公開講座等を開催し、健康増進、リハビリの重要性を発信していく。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>○引き続き、回復期病院として取り組んでいく。</p>

# 病院の役割と今後について

## 【基本情報】

病院名	医療法人社団貴順会 吉川病院			
所在地	京都市左京区聖護院山王町1番地			
許可病床数	52床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 （非稼働病床）	一般 52床 (0床)	医療療養 床 ( 床)	介護療養 床 ( 床)	
主な診療科目 （上位3つ）	整形外科			
病床機能	高度急性期 床	急性期 52床	回復期 床	慢性期 床
主な病院機能	救急告示病院			

### 例示

- ①周産期医療〇〇病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

## 【現状と今後について】

自施設の現状	・ 整形外科領域の急性期機能を担う病院として、医療を促進しています。
自施設の課題	・ 内科系疾患への対応が今後の課題である。
地域において今後担う役割	・ 急性期機能を担う病院として地域の在宅診療や病診連携の協力を図る
今後の展望	・ 左京区内の病院との合同カンファレンスを行い、さらなる連携を深め、地域の医療に貢献して参ります